

令和7年度 指定管理者年度総合評価表

(令和7年4月～令和8年3月実施分)

作成日	令和8年6月1日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市児童科学館・八戸市視聴覚ライブラリー	
所在地	八戸市類家四丁目3-1	
施設概要	《設置目的》子どもたちの科学する心を育てる児童科学館と、学校教育・生涯学習のための視聴覚教材の制作・貸出し・研修を行う視聴覚センターの機能をもつ。視聴覚ライブラリー業務も行っている。 《建物構造》鉄筋コンクリート造 2階建 PH1階 プラネタリウム・視聴覚室・スタジオ・天体観測室	
指定管理者	名称	三八五ふれあいネット 三八五交通株式会社 代表取締役 小笠原 修 三八五バス株式会社 代表取締役 安達 清幸
	代表者	三八五交通株式会社 代表取締役 小笠原 修
	所在地	八戸市城下四丁目19-15
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
指定管理者の業務	・施設使用許可及び視聴覚教材教具貸出事務 ・観覧料徴収事務 ・施設の運営に関する事務	
市所管課 (問合せ先)	八戸市教育委員会（総合教育センター）	
	電話	0178-46-0521（直通）
	e-mail	edcenter@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	1 施設の設置目的を理解し、各種法令等を遵守した上で、関係機関と連携を図りながら地域密着型教育を推進し、学校等での教育活動を支援できた。 2 プラネタリウム更新に伴い、新機体の操作や新機能を使った演出方法の習得に努めた。 3 プラネタリウムでは自作の投影番組に加え、投影回数の増加、「熟睡プラ寝たリウム」などの生解説番組の定期的な投影、一般向け番組の定期投影に取り組んだ。また、来館者の声を活かし、大人向けの番組を用意し投影するようにした。 4 科学館KIDS工房・キッズラボの自主事業を継続して開催した。体験内容の更新を定期的に行い、リピータのお客様にも繰り返し楽しんでもらえるよう工夫した。 5 視聴覚ライブラリーの利用率向上に向け、三八管内市町村教育委員会や小・中学校を中心に当館所有の視聴覚教材等の周知活動や、市立図書館や地区公民館での上映会を行った。 6 緊急時動員体制、情報連絡体制及び安全確保についてのマニュアルを作成し、災害に対して共通理解を図った。また、敷地内の団体と連携し、地震及び火災を想定した訓練を実施したほか、敷地内外を巡回し異常の有無を確認した。 7 改善点を見直し、よりよい施設運営を目指すため、職員による自己評価を実施した。 8 日本プラネタリウム協議会の開催する全国プラネタリウム研修会に参加し、職員の資質向上に取り組んだ。 以上のことから、指定管理者として、各種法令等を遵守した管理運営を適切に実施するとともに、職員各自が参画意識をもち、企画を実施することができた。
今後の目標	1 職員の知識・技能の習熟を図り、指導力の向上を図る。 2 プラネタリウムの操作方法、番組作成技術を身に付け、投影内容の充実及び多様化を図る。 3 児童科学館の活動をより知ってもらうために、これまで以上に館外活動に注力する。 4 各教育機関・関係団体の声を最大限に生かし、「施設の新しい魅力づくり」を行う。 5 災害等の緊急事態に素早く対応できるように、職員の危機管理能力の向上を図る。

■市（所管課）の総合評価

評 価	・プラネタリウム機器及び設備の更新に伴い、新しい機器の操作や新機能を使った演出方法の習得に努めていた。 ・プラネタリウムでは、自作の投影番組に加え、「熟睡プラ寝たりウム」などの生解説番組や一般向け番組の定期的な投影に取り組んでいた。また、来館者の声を反映し、大人向けの番組を投影するようにしたり、より多くの市民に楽しんでもらえるように投影回数を増やしたりする工夫がなされていた。 ・館内での工作では、動画やプリントを見ながら完成させる「セルフ工作」を前年度に引き続き提供した。これにより工作のメニューが一層充実し、より多くの子どもたちへの学びの場の提供につながっていた。 ・天文教育の普及に向けて、天体観測室と屋上を開放する回数を増やし、金星観測や望遠鏡の特徴を学ぶ八戸の景色観望会が実施されていた。 ・学校等へ赴いての天体観測や工作教室等を積極的に行い、利用者の増加に努めていた点について大いに評価できる。 ・常に各事業について改善を図り、新しい取組を模索する等、前向きな運営に努めていた。
指摘事項	・特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	・平日・日祝日は8:30から16:00まで、第2・4土曜日は4時間30分延長し8:30から20:00まで開館した。 ・市内小学校の長期休業期間は月曜日の開館に取り組んだ。
法令の遵守	○	法令、条例や運営規則、施行規則を確認しながら業務を遂行していた。
適正な人員配置	○	管理運営をするために必要な人員及び資格者を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	・提案内容のとおり地域貢献活動が行われていた。 ・科学であそぼうinラピア出展
従事者の教育・研修	◎	全国プラネタリウム研修会やデジタルプラネタリウムオンライン研修会に参加した。
緊急事態への対応	◎	緊急事態の対応マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書は適切に管理保存されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告、事業報告、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	観覧料等の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	市で示した基準どおりに減免が行われていた。
通帳、印鑑の管理	○	・通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。

管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（令和4年度～8年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和4年度～8年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	書類の届出が適切に行われた。 ・教育委員会承認事項に関わる届出は適切に行われた。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明																																			
開館日数	○	前年度より開館日数が増加した。 ・改修が完了し、通年開館できたため。 令和6年度 232日 令和7年度 314日																																			
入館者数	◎	入館者数が前年度より大幅に増加した。 ・プラネタリウム更新により観覧者数が増加したため。 ・プラネタリウムと併せてKIDS工房・キッズラボの体験者が増加したため。 令和6年度 40,751人 令和7年度 84,387人																																			
プラネタリウム 観覧者数	◎	観覧者数が前年度より大幅に増加した。 ・プラネタリウムが更新されたため。 ・投影回数増加、一般向け番組投影によりこれまで観覧する機会がなかった方にも足を運んでもらえたため。 令和6年度 6,833人 令和7年度 21,105人																																			
施設利用状況	○	・キッズラボの体験内容を更新した。 ・KIDS工房で定期的にメニューの更新を行った。 <table><tr><th></th><th colspan="2">6年度</th><th colspan="2">7年度</th></tr><tr><td>スタジオ</td><td>1件</td><td>6人</td><td>0件</td><td>0人</td></tr><tr><td>視聴覚室</td><td>155件</td><td>2,065人</td><td>174件</td><td>3,720人</td></tr><tr><td>実習室</td><td>50件</td><td>392人</td><td>50件</td><td>479人</td></tr><tr><td>講義室</td><td>111件</td><td>4,530人</td><td>149件</td><td>8,493人</td></tr><tr><td>天体観測室</td><td>14件</td><td>367人</td><td>21件</td><td>560人</td></tr><tr><td>合計</td><td>331件</td><td>7,360人</td><td>394件</td><td>13,252人</td></tr></table>		6年度		7年度		スタジオ	1件	6人	0件	0人	視聴覚室	155件	2,065人	174件	3,720人	実習室	50件	392人	50件	479人	講義室	111件	4,530人	149件	8,493人	天体観測室	14件	367人	21件	560人	合計	331件	7,360人	394件	13,252人
	6年度		7年度																																		
スタジオ	1件	6人	0件	0人																																	
視聴覚室	155件	2,065人	174件	3,720人																																	
実習室	50件	392人	50件	479人																																	
講義室	111件	4,530人	149件	8,493人																																	
天体観測室	14件	367人	21件	560人																																	
合計	331件	7,360人	394件	13,252人																																	
プラネタリウム利用状況	◎	・プラネタリウムの更新に合わせ投影回数を増やした。 ・「季節の星空散歩」や「熟睡プラ寝たリウム」、一般向け番組の投影等、年齢層に合わせた特別番組の投影を行った。 <table><tr><th></th><th colspan="2">6年度</th><th colspan="2">7年度</th></tr><tr><td>個人観覧者数</td><td colspan="2">4,232人</td><td colspan="2">15,510人</td></tr><tr><td>団体観覧者数</td><td>71件</td><td>1,754人</td><td>127件</td><td>3,246人</td></tr><tr><td>（上段減免、下段有料）</td><td>1件</td><td>3人</td><td>8件</td><td>194人</td></tr><tr><td>減免観覧者数</td><td>87件</td><td>844人</td><td>143件</td><td>2,155人</td></tr><tr><td>合計</td><td colspan="2">6,833人</td><td colspan="2">21,105人</td></tr></table>		6年度		7年度		個人観覧者数	4,232人		15,510人		団体観覧者数	71件	1,754人	127件	3,246人	（上段減免、下段有料）	1件	3人	8件	194人	減免観覧者数	87件	844人	143件	2,155人	合計	6,833人		21,105人						
	6年度		7年度																																		
個人観覧者数	4,232人		15,510人																																		
団体観覧者数	71件	1,754人	127件	3,246人																																	
（上段減免、下段有料）	1件	3人	8件	194人																																	
減免観覧者数	87件	844人	143件	2,155人																																	
合計	6,833人		21,105人																																		

視聴覚教材貸出し状況	○	・八戸市内学校・公民館へメール便の活用に取り組んだ。 ・八戸市立図書館での上映会で、視聴覚教材の活用に取り組んだ。 <table><tr><td></td><td>6年度</td><td>7年度</td></tr><tr><td>16ミリ映画</td><td>21本</td><td>17本</td></tr><tr><td>ビデオ教材</td><td>54本</td><td>34本</td></tr><tr><td>DVD</td><td>281本</td><td>290本</td></tr><tr><td>機材</td><td>61機</td><td>36機</td></tr><tr><td>合計</td><td>417本</td><td>377本</td></tr></table>		6年度	7年度	16ミリ映画	21本	17本	ビデオ教材	54本	34本	DVD	281本	290本	機材	61機	36機	合計	417本	377本		
	6年度	7年度																				
16ミリ映画	21本	17本																				
ビデオ教材	54本	34本																				
DVD	281本	290本																				
機材	61機	36機																				
合計	417本	377本																				
自主事業及び委託事業の実施状況	○	・委託事業では、各教育機関との連携を密にしたほか、八戸天文同好会、科学であそび隊、星好きんず等、地域のボランティア団体及びその他の有識者や市民と協力して事業を実施した。 ・自主事業として21の事業を行い、延べ39,704名の参加があった。八戸天文同好会と連携し、八戸市役所前市民広場や種差少年自然の家での天体観測に取り組んだ。これらの活動を通して市民の科学する心を育んだ。 <table><tr><td>主な自主事業</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>科学館KIDS工房</td><td>16,732人</td></tr><tr><td>キッズラボ</td><td>8,493人</td></tr><tr><td>YouTubeチャンネル公開</td><td>7,061人</td></tr><tr><td>星空案内人資格認定講座</td><td>119人</td></tr><tr><td>水棲生物の観察</td><td>20人</td></tr><tr><td>更上閣ひな人形工作</td><td>464人</td></tr><tr><td>八戸市役所前観望会</td><td>324人</td></tr><tr><td>その他14企画</td><td>6,491人</td></tr><tr><td>合計</td><td>39,704人</td></tr></table>	主な自主事業	参加者数	科学館KIDS工房	16,732人	キッズラボ	8,493人	YouTubeチャンネル公開	7,061人	星空案内人資格認定講座	119人	水棲生物の観察	20人	更上閣ひな人形工作	464人	八戸市役所前観望会	324人	その他14企画	6,491人	合計	39,704人
主な自主事業	参加者数																					
科学館KIDS工房	16,732人																					
キッズラボ	8,493人																					
YouTubeチャンネル公開	7,061人																					
星空案内人資格認定講座	119人																					
水棲生物の観察	20人																					
更上閣ひな人形工作	464人																					
八戸市役所前観望会	324人																					
その他14企画	6,491人																					
合計	39,704人																					
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	(「元気な八戸作り」市民提案制度への協力) ・八戸天文同好会が行った、『東北で最も星が輝く街「はちのへ」の星空で学ぼう』へ協力し、会場の提供、観望会・講演会への協力等を行った。 (館内外の安全管理) ・朝夕に敷地内外を巡回し、館内点検を定期的に実施した。施設の安全管理と異常箇所の早期発見及び迅速な対応に努めた。 ・福祉公民館・更生館と合同で避難訓練を実施し、緊急時の対応を確認した。 (職員のスキル向上・研修の実施) ・知識・技能の向上を目的に、日本プラネタリウム協議会が開催する全国プラネタリウム研修会や、五藤光学研究所の開催するオンライン研修会に参加した。 (ボランティアの活用) ・学生ボランティアや一般の方の力を活用することにより、イベントのスムーズな実施、施設・設備の改善、向上に資することができた。																				

3 収支状況

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	△	令和7年度はプラネタリウム改修に伴う利用料金の増加があったが、人件費の増加により赤字収支となった。 (単位：円)

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者満足度調査及びその結果を活かす仕組みができていた。 ・利用者アンケートの月ごとの集計結果を館内に掲示していた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等を広報やホームページ、施設だより等で積極的に周知していた。 ・市内小・中学校及び幼稚園・保育園等に、館だよりでイベントや自主事業について情報を伝えていた。
苦情・要望等の受付体制	○	利用者ご要望ボックスを設置し、苦情・要望等の受付体制を明示していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に対し適切に対応していた。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	コストの削減に努め、環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。

障がい者への配慮	○	八戸市福祉公民館のエレベータ及び2階連絡通路を利用することで、プラネタリウムや展示物を体験できることを説明し、必要に応じて案内を行った。
----------	---	--

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング		
自主点検状況	実施状況	
	・有識者による外部評価を実施し、改善点を見直しより良い施設運営を目指していた。 ・利用者アンケート結果に関して、問題点の克服に向けた取組を検討した。	

2 定期モニタリング		
定期報告状況	実施状況	
	月例報告書等により、運営・収支状況等のモニタリングを行った。遅滞なく提出され、内容も適切であった。	

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	5回	4月9日	所長・副所長・担当	・令和6年度の業務報告、令和7年度の運営の見通しや今後の予定について報告 ・プラネタリウムリニューアルオープンに関するイベント等の確認 ・修繕等に関わる設備の確認
		6月13日	所長・副所長・担当	・運営状況の確認 ・夏休みのイベントの確認 ・夏休みを除く今後の行事等の確認 ・プラネタリウムリニューアルオープン後の状況確認
		9月24日	所長・副所長・担当	・運営状況の確認 ・夏休みの科学館の利用について ・プラネタリウムの番組作成の状況について ・2学期の主な行事等について
		11月7日	所長・副所長・担当	・運営状況の確認 ・各クラブ（天文クラブ他）の活用の様子 ・前期の運営状況、目標達成度の確認 ・冬休みのイベントの確認
		2月21日	所長・副所長・担当	・令和7年度の事業の振り返り ・令和8年度の計画・企画について意見交換 ・児童科学館の展示物のリニューアルについての確認
	実施結果			
	・予定していた事業や内容について、適正な管理運営を行っていた。 ・5月にリニューアルオープンしたプラネタリウムの管理・運営や科学館KIDS工房などの事業に精力的に取り組み、参加者の増加に努めた。 ・市民からの要望を真摯に受け止め、施設の整備をする等、適切に対処していた。			

※GL：グループリーダー